平成 22 年 2 月　市政報告

浜松市議会議員　田口 章

浜松市の H21 年度一般会計予算を　家計（1 か月）にたとえるとどうなるか？
*父・母・息子（会社員）・息子の妻（パート）・長男（小学生）・長女（保育園）の 3 世代 6 人家族

◇平成 21 年度　当初予算

○収入

浜松市一般会計（概算）		①　家計全体を年間 500 万円として･･･	
市税	1270 億円	③　息子の手取り収入	20.5 万円
地方譲与税・交付金	222 億円	④　パート収入	3.6 万円
地方交付税	177 億円	⑤　父母からの援助	8.7 万円
補助金・負担金(国県)	359 億円		
基金繰入金	90 億円	貯金の取り崩し	1.4 万円
市債	236 億円	新たな借金	3.8 万円
その他(手数料・臨時収入)	192 億円	臨時収入	3.1 万円
	2546 億円	②　月額に換算すると･･･	41.0 万円

○支出

浜松市一般会計（概算）		家計	
総務・くらし全般	575 億円	①衣食など日々の生活費	9.3 万円
福祉	522 億円	②育児・福祉機器など	8.4 万円
まちづくり・土木	485 億円	③庭や家の改修・家具購入	7.8 万円
公債費	365 億円	ローン返済	5.9 万円
教育	204 億円	教育費	3.3 万円
健康医療	209 億円	医者代	3.4 万円
商工業・農業	116 億円	お金を稼ぐための投資	1.9 万円
スポーツ文化	70 億円	趣味や娯楽	1.1 万円
合計	2546 億円		41 万円

○貯金の残高（補正後）　　219 億円
○借金の残高　　2843 億円　（総会計 5341 億円）

総会計は上下水道など企業会計や特別会計を含めたもの。市民 1 人あたり 65 万円

＊ 息子の「手取り収入（税収）」が減る中、少子高齢化への対応として、保育や福祉機器、医者代（福祉・医療）にますますお金がかかってくる

＊ 日々の生活費の節約（行財政改革）や、計画的な家の改修（資産経営・長寿命化）をやらないと家計はもたないし、教育費や趣味に回すお金がなくなってしまう。

◇平成 22 年度　当初予算（案）　2/12 発表

○収入

浜松市一般会計（概算）		家計全体は年間 520 万円に増加（4.4%）	
市税	1185 億円	息子の手取り収入	19.6 万円
地方譲与税・交付金	212 億円	パート収入	3.5 万円
地方交付税	200 億円	父母からの援助	11.6 万円
補助金・負担金(国県)	500 億円		
基金繰入金	74 億円	貯金の取り崩し	1.2 万円
市債	292 億円	新たな借金	4.8 万円
その他(手数料・臨時収入)	197 億円	臨時収入	3.3 万円
	2660 億円	月額に換算すると・・・	43.0 万円

○支出

浜松市一般会計（概算）		家計	
総務・くらし全般	556 億円	衣食など日々の生活費	9.0 万円
福祉	697 億円	育児・福祉機器など	11.3 万円
まちづくり・土木	418 億円	庭や家の改修・家具購入	6.8 万円
公債費	366 億円	ローン返済	5.9 万円
教育	183 億円	教育費	3.0 万円
健康医療	226 億円	医者代	3.7 万円
商工業・農業	151 億円	お金を稼ぐための投資	2.4 万円
スポーツ文化	63 億円	趣味や娯楽	1.0 万円
合計	2660 億円		43 万円

○貯金の残高　　149 億円
○借金の残高　2820 億円　（総会計 5257 億円）

【増加要因】
＊ 増えたうちの多くは「子ども手当 13000 円」＋146 億円（112,200 人分）
　（22 年 4 月～23 年 1 月まで 10 ヵ月分(2・3 月分は H23 年度に支給)）
　但し「児童手当」は 64 億円から 11 億円に減（▲53 億円）（22 年 2・3 月分）
　負担割合は、おおよそ国 8 割、県 1 割、市 1 割（計算方法は非常に複雑）
　平成 23 年度　26000 円に増額の見込み
＊ 子ども医療費助成（中学生までの通院への助成を拡大）約 9 億円
＊ 「生活保護」は 65 億円から 88 億円に 23 億円の増（市が 1/4 負担）
＊ 「南部清掃工場」改修工事に 38 億円（上記「くらし全般」に含む）

【減額となっている事業】
＊ 道路の維持整備費は 178 億円から 130 億円に 48 億円の減
＊ 区画整理事業費は 60 億円から 38 億円に 22 億円の減
＊ 教育費の減は「小学校」や「天竜給食センター」など建物建設の減による